

## 宝の山の磐梯山

ホームページへの投稿を止めたので、VIVO は潰れたと勘違いなさっている 27 期の皆様、処がドッコイ、元気にこの 9 月 100 座目の登頂成功です。

重ねた回が仲間の山への関心を高め、参加者数は一向に減る気配なし。

行動を共にする事 5 年、この歳月は参加者の肩を丸くさせ、許せる範囲が広がり気の置けないグループが出来上がる

5 年前、富士山制覇を目標に VIVO を立ち上げ、月 1～2 回を原則に登山開始。年々若返るならいざ知らず高齢者の集まり、「事故が起きたら廃部は覚悟」と肝に銘じ細心の注意を払っての計画がなされる。

部長の言葉を、忠実に守る事の出来る人のみ入会を、認める事にしている。

毎年夏に 2 泊 3 日のイベントを計画、

1 年目富士山、二年目屋久島、3 年目

旭岳、4 年目三國山と平標、今年は 100 座を記念し、皆の大好きな宝の山の磐梯山の登頂成功だ。

1 年目に最高峰の富士山に登った事で、日本の山ならどこでも登れると、勘違いも甚だしい人たちの集まりだったが、最近はそれが勘違いだった事に気が付き始めたようだ。

季節の良い時期には月 2 回、その他の季節は月 1 回を原則とし埼玉・群馬の近郊の山を歩く会だ。山を楽しむと言うより仲間が集うだけで笑顔がこぼれる、仲間が集まればそれでラッキーと言う会と言えるかも知れない。

当初 100 山は、無理の無理と思って居た VIVO の仲間も山の魅力に取りつかれ磐梯山の下山の際には「100 山で終わりじゃないよね」との声が上がる。



こんな声を反映し磐梯山の 100 回を記念し、下山講と今後の VIVO をどんな方向に進めるかを話し合う予定だ。

いま暫くは、山への熱い気持ちが続くと思って居るし、続いてほしいと願って居る。

### 磐梯山登頂記念に一句（川柳）

仰ぎ見る 宝の山は 黄金色  
VOVO の会 重ね重ねて 宝の山  
横川  
連泊で 十人十色が 色濃くて  
頂に 立てば稲穂の 波の上  
浅見



写真 : 我妻  
文 : 浅見